

事前評価個表

整理番号	66
------	----

地域（地区）名	斐伊川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	島根県	対象市町村	松江市ほか7市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>斐伊川地域の総土地面積は278,228haで、森林率69%、人工林率は39%の緑豊かな自然環境と出雲大社を始めとする歴史・文化に恵まれた地域である。これらの人工林の多くは戦後造林され資源が充実してきている一方で、木材価格の低下や森林所有者の高齢化により手入れの進まない森林が増加している。また、路網整備や集約化が遅れているために、利用期を迎えている間伐材の生産も進んでいない。</p> <p>市町村森林整備計画に基づき、除伐、間伐を中心とした保育作業を推進することで、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。また、路網整備を推進することで、利用期を迎えた森林からの間伐材搬出量の増加や、施業における労務負担の軽減等を実現することを目的とする。</p> <p>農耕地の多くが森林に隣接していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,075ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：1,903m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：2,903,850千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.36 (総便益(B) = 24,039,427千円、総費用(C) = 4,484,153千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の持つ公益的機能の高度発揮の観点から事業実施の必要性は高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林整備によって、水源かん養・国土保全等の公益的機能の確保に有効である。また、利用間伐を積極的に実施する計画にしており、森林資源の有効利用にもつながる。</p> <p>手入れ不足の森林を増やすことになれば、森林の持つ公益的機能の低下を招くなど、様々な問題が生じる恐れがある。森林の持つ公益的機能の高度発揮のため、間伐等の適正な森林施業を行う必要があり、本事業を実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 斐伊川

島根県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,139,578	
	流域貯水便益	2,239,842	
	水質浄化便益	3,823,026	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,773,212	
	土砂崩壊防止便益	20,922	
環境保全便益	炭素固定便益	1,120,856	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	6,842	
	木材利用増進便益	8,346	
	木材生産確保・増進便益	1,754,289	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,851	
	森林管理等経費縮減便益	394	
	森林整備促進便益	150,269	
総 便 益 (B)		24,039,427	
総 費 用 (C)		4,484,153	
費用便益比	$B \div C = \frac{24,039,427}{4,484,153} = 5.36$		

森林環境保全整備事業 斐伊川地域（島根県） 概要図

